

平成22年8月19日

| | |
|------|-----------|
| 記者発表 | |
| 発表先 | 石川県政記者クラブ |

| | |
|----|----------|
| 扱い | 発表を持って解禁 |
|----|----------|



かみやち 国道159号 金沢東部環状道路(山側環状)
「神谷内IC」 開通3ヶ月後の交通状況をお知らせします。

国道159号金沢東部環状道路(通称:山側環状)神谷内ICは、平成22年3月27日に開通しました。約3ヶ月経過後の交通状況を調査し、取りまとめましたので、その概要をお知らせします。

IC開通前に発生していた交通渋滞が、半数以上で解消又は緩和しました。

IC開通前の交通渋滞発生箇所:16方向(1) **解消:5方向、緩和:5方向**

主な交差点の渋滞状況

【東長江交差点】白山方面からの交通渋滞が、解消しました。

・平日朝(7~9時)の渋滞長(通過時間):IC開通前約300m(約3分) **解消**

【鳴和交差点】東長江方面からの交通渋滞が、緩和しました。

・休日日中(14~18時)の渋滞長(通過時間):IC開通前約420m(約5分)
 約140m(約2分)に**緩和**

1)調査は、東長江・鳴和・小坂町の3交差点において、1つの交差点につき4方向を、平日の朝と夕、休日の日中に実施しました。
 よって、本資料中の方向数は、「3交差点×4方向×3時点=36方向」を元にしております。

~聞き取り調査の結果では~

バスの回送ルートや商品の搬送ルートが、神谷内IC経由に変更となりました。

幅員の狭い道路を避けて、東部環状道路へルートが変更されました。

~参考データ~

神谷内ICの利用台数は、平日(7~19時)で、約7,200台でした。
 金沢東部環状道路御所地先(神谷内IC~東長江IC間)の交通量は、平日(7~19時)で、約23,500台でした。(IC開通前より約3割増加) 2 詳細なデータは次ページ以降を参照願います。

位置図



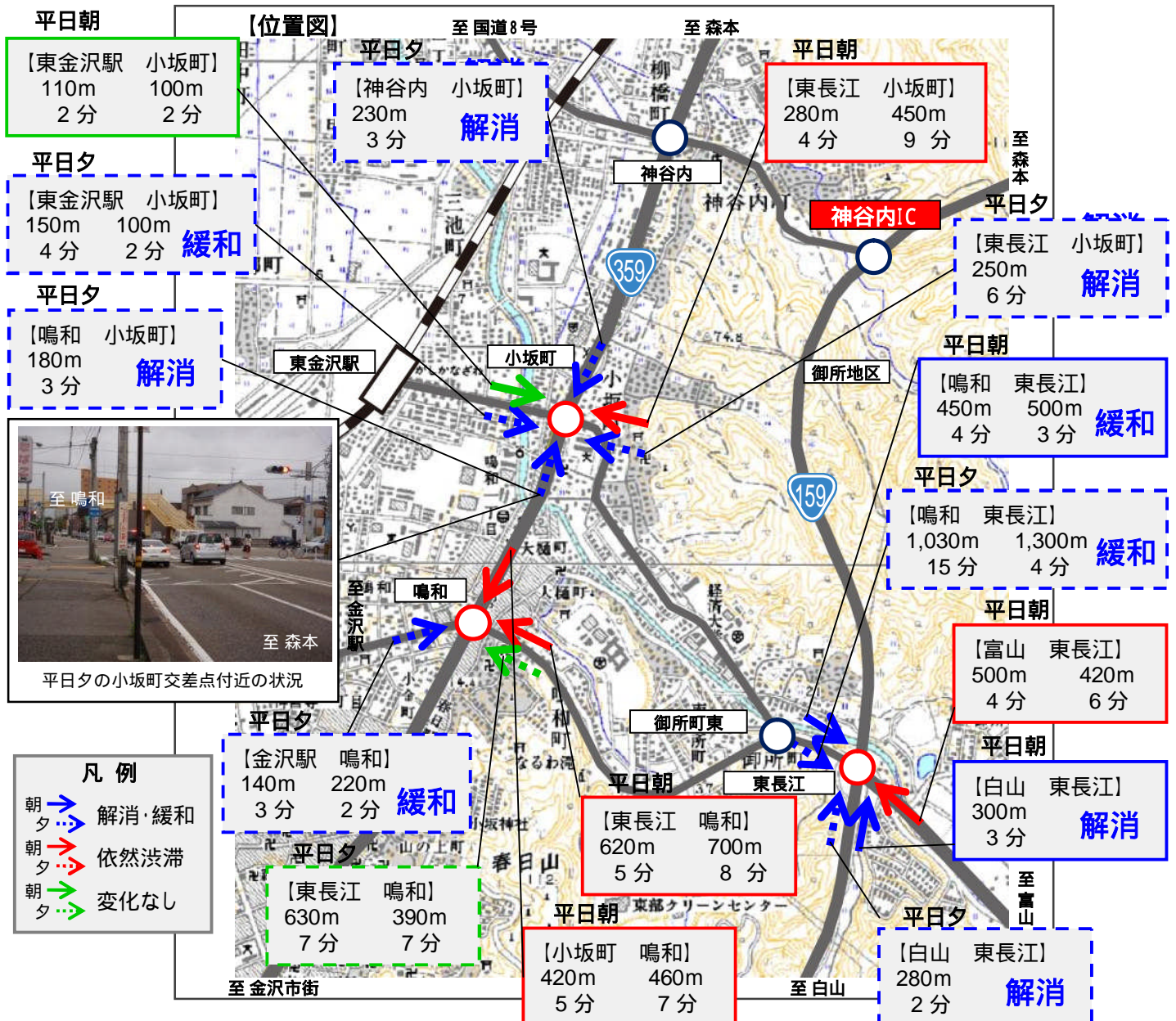
お問い合わせ先
 国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
 調査第二課 吉田 英治
 電話:076-264-9912(直通)

平日(朝・夕)の神谷内IC周辺における交通渋滞状況の変化

平日朝(7時~9時)と、夕方(17時~19時)に、東長江、鳴和、小坂交差点における各方面の交通渋滞状況を調査したところ、平日朝ではIC開通前に交通渋滞が発生していた7方向のうち、解消又は緩和が2方向、平日夕方では、同じく7方向のうち、全ての方向で交通渋滞が解消又は緩和しました。主な状況は以下のとおりです。(解消・緩和は、通過時間を目安としております。)

1. 小坂町交差点で、平日夕方に発生していた、神谷内、東長江、鳴和の各方面からの交通渋滞が、**解消**しました。
 - ・神谷内方面: 約230m(約3分)、東長江方面約250m(約6分)、鳴和方面約180m(約3分) **解消**
 - 一方、平日朝に発生していた、東長江方面からの交通渋滞は、**依然発生しています。**
 - ・東長江方面: 開通前 約280m(約4分) 開通後約450m(約9分)
2. 東長江交差点で、平日朝と夕方に発生していた白山方面からの交通渋滞が、**解消**しました。
 - ・白山方面: 平日朝約300m(約3分)、平日夕方約280m(約2分) **解消**
3. 鳴和交差点で、平日夕方に発生していた金沢駅方面からの交通渋滞は、**緩和**しました。
 - ・金沢駅方面: 開通前 約140m(約3分) 開通後約220m(約2分)に緩和
 - 一方、平日朝に発生していた、東長江方面からの交通渋滞は、**依然発生しています。**
 - ・東長江方面: 開通前 約620m(約5分) 開通後約700m(約8分)

調査日時 開通前:H22.3.9(火) 開通後:H22.6.29(火)



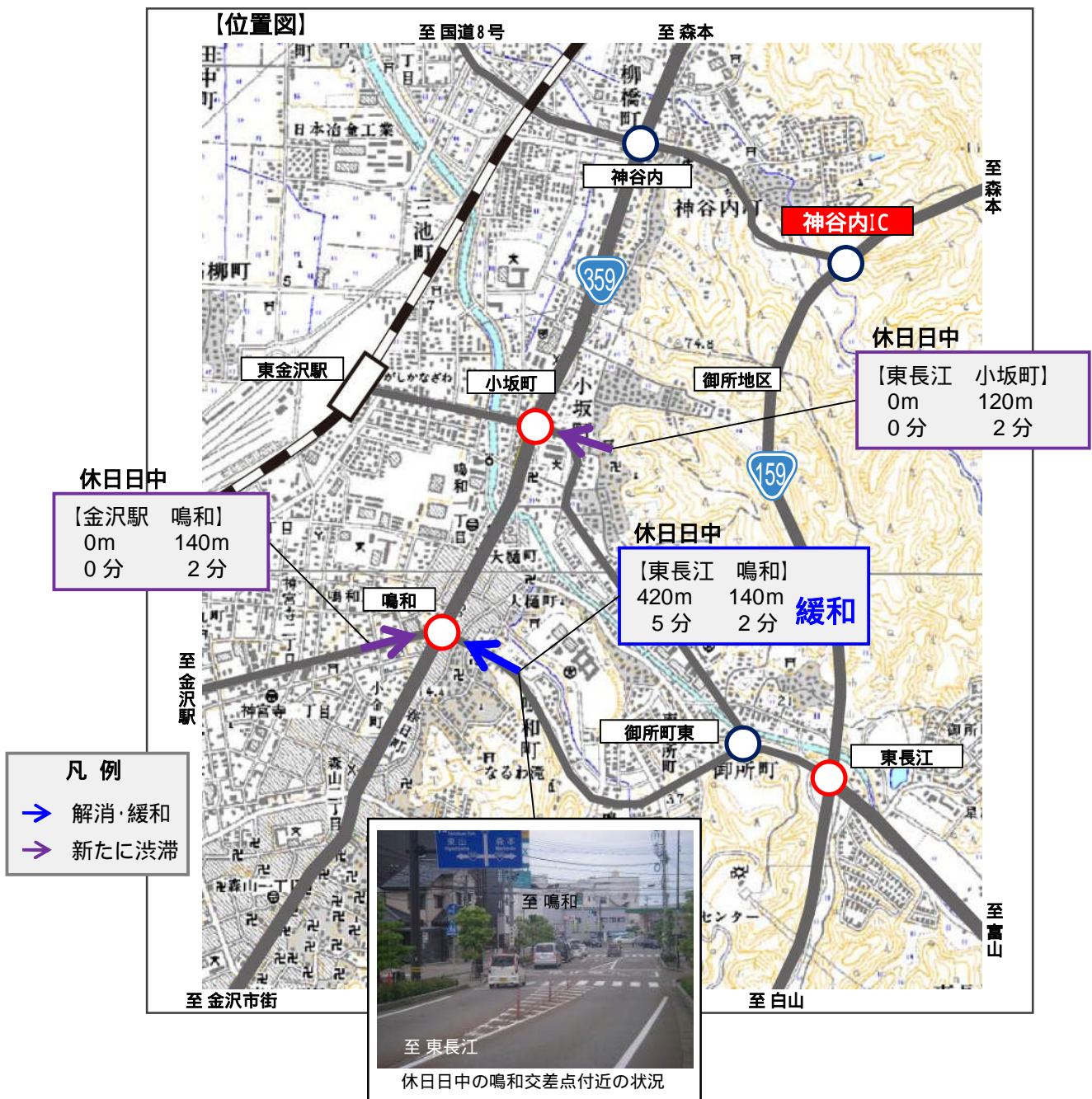
休日(日中)の神谷内IC周辺における交通渋滞状況の変化

休日日中(14時～18時)の東長江、鳴和、小坂交差点における各方面別の交通渋滞状況を調査したところ、IC開通前に交通渋滞が発生していた1方向で交通渋滞が緩和しましたが、IC開通前には発生していなかった2方向で新たに交通渋滞が発生しました。

主な状況は以下のとおりです。

1. 鳴和交差点で、休日日中に発生していた東長江方面からの交通渋滞は、緩和しました。
 - ・東長江方面:開通前 約420m(約5分) 開通後約140m(約2分)に緩和
 - 一方、休日日中にはなかった交通渋滞が、新たに発生しました。
 - ・金沢駅方面:開通前 約90m(0分) 開通後約140m(約2分)
2. 小坂町交差点で、休日日中にはなかった交通渋滞が、新たに発生しました。
 - ・神谷内方面:開通前 約80m(0分) 開通後約120m(約2分)

調査日時 開通前:H22.3.7(日) 開通後:H22.6.27(日)



神谷内IC 開通に伴うその他の効果 (利用者の声)

バス会社の声

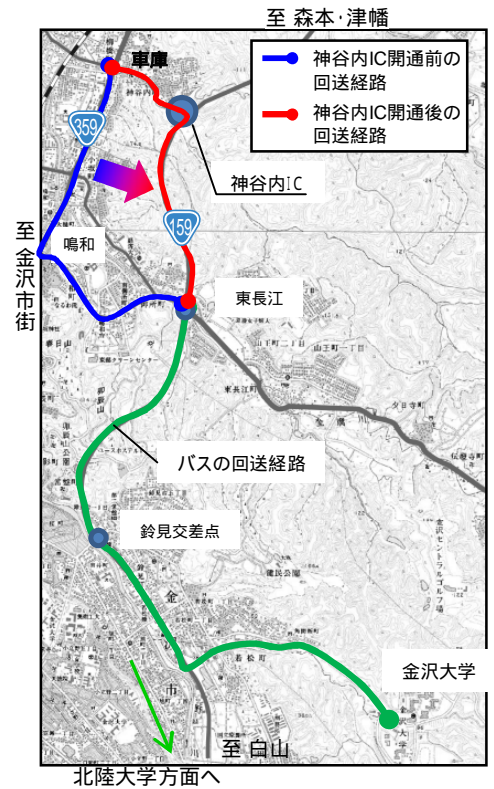
1. 回送時における利用

・車庫から金沢大学、北陸大学方面への回送時には神谷内ICを必ず利用する。また、逆の場合も同様。

2. その他のご意見

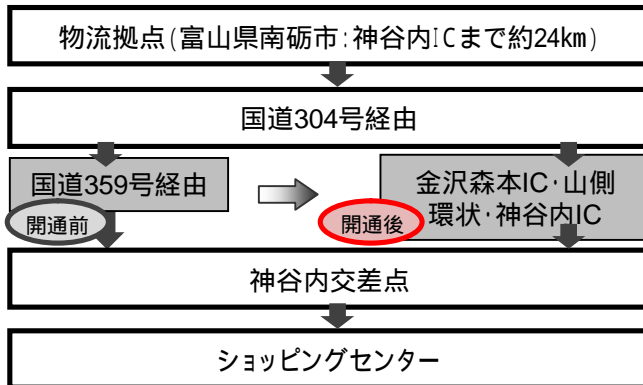
・金沢東部環状道路は、通常の路線と違い、歩行者や自転車が通行していないので、その分ドライバーの負担が軽減され、時間も少し短縮される。

・金沢東部環状道路が2車線なので、早く片側2車線の整備を進めてほしい。



ショッピングセンターの声

・南砺市にある物流拠点からの商品搬送経路を、幅員の狭い国道359号を避けて、神谷内ICまでは山側環状を利用する経路に変更した。



森本小学校区周辺の住民の声 (20名へ聞き取り調査を実施)

1. 神谷内IC 開通に伴う状況変化

- ・50%の方が「開通前後で、目的地への移動時間が早くなった」と実感。
- ・移動時間の短縮を感じるとした全ての回答者が、「鈴見方面へ行くときに移動時間の短縮」を実感。

2. その他ご意見

- ・開通後は交通量が金沢東部環状道路へ分散され、国道359号の交通の流れがスムーズになり、渋滞が解消されたと感じる。
- ・神谷内ICの開通があまり知られていない。
- ・これまで東長江を利用して鈴見方面へ向かっていたが神谷内ICに変えたら移動が早くなった。

【参考】神谷内IC周辺道路の断面交通量の比較

神谷内IC開通後の周辺道路の交通量は、

1. 金沢東部環状道路の、**断面交通量が増加しました。**【A1-A1断面、B1-B1断面、C1-C1断面】

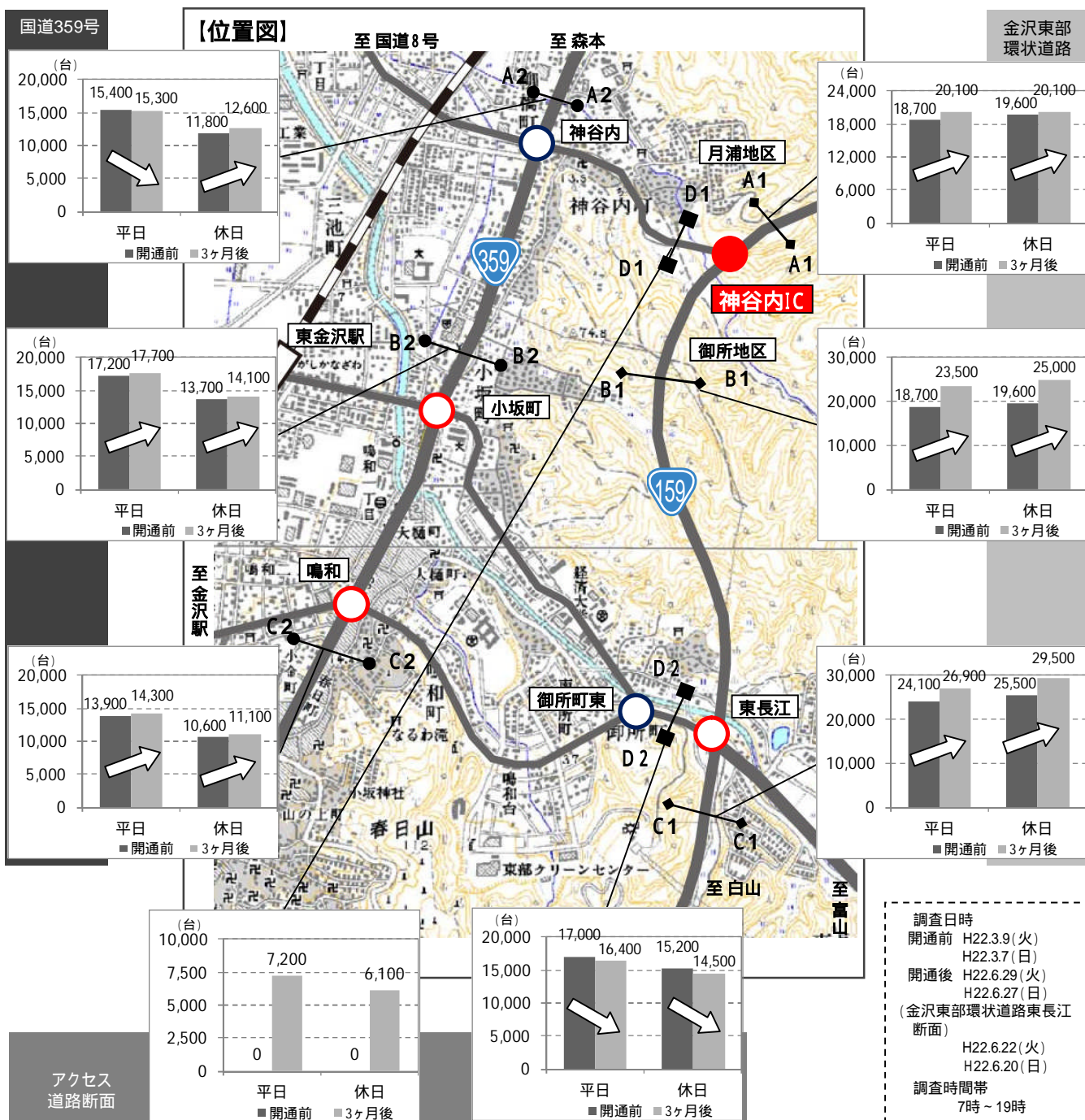
- ・平日(3断面平均): 開通前 約20,500台/12h 開通後 約23,500台/12h(約3,000台/12h増)
- ・休日(3断面平均): 開通前 約22,000台/12h 開通後 約24,900台/12h(約2,900台/12h増)

2. 国道359号の、**断面交通量が微増。**【A2-A2断面、B2-B2断面、C2-C2断面】

- ・平日(3断面平均): 開通前 約15,500台/12h 開通後 約15,800台/12h(約300台/12h増)
- ・休日(3断面平均): 開通前 約12,000台/12h 開通後 約12,600台/12h(約600台/12h増)

3. 金沢東部環状と国道359号を結ぶ路線では、**神谷内ICと神谷内交差点間では新たな交通が発生し、東長江交差点と御所町東交差点では減少しました。**【D1-D1断面、D2-D2断面】

- ・平日(神谷内): 0台/12h 約7,200台/12h
- ・休日(神谷内): 0台/12h 約6,100台/12h
- ・平日(御所町東): 約17,000台/12h 約16,400台/12h(約600台/12h減)
- ・休日(御所町東): 約15,200台/12h 約14,500台/12h(約700台/12h減)



調査日時
 開通前 H22.3.9(火)
 H22.3.7(日)
 開通後 H22.6.29(火)
 H22.6.27(日)
 (金沢東部環状道路東長江断面)
 H22.6.22(火)
 H22.6.20(日)
 調査時間帯
 7時～19時